日田彦山線BRT

ひこぼしライン

豊かな自然とあたたかい人に
囲まれたこの地域で
ひこぼしラインは、走ります。

日田彦山線BRT
ひこぼしライン
HIKOBOSHI LINE

ひこぼしライン

JR九州

日田彦山線BRT
ひこぼしライン
HIKOBOSHI LINE

日田彦山線BRT「ひこぼしライン」の旅

ひたひこさん新発見!

2026年度版

福岡県 添田町（そえだまち）

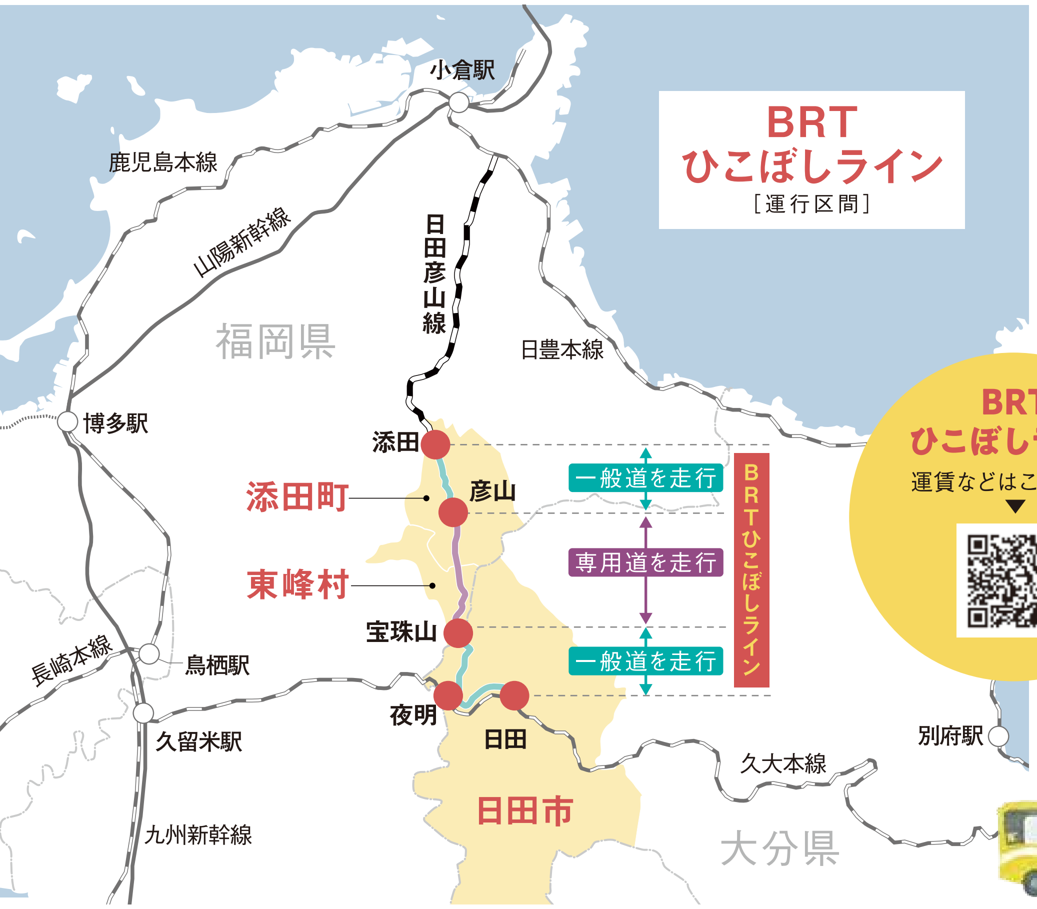
英彦山&アドベンチャー

福岡県 東峰村（とうほうむら）

里山の恵み満載!

大分県 日田市（ひたし）

歴史とグルメを楽しむ



BRT
ひこぼしライン
運賃などはこちらから
▼

990円で
1日乗り放題！！
+特典付き！

BRT
ひこぼしライン
1DAY満喫
フリーチケット
詳しい情報はこちらから
▼

日田彦山線BRT
「ひこぼしライン」と

ひた ひこさん旅 6コース

乗合タクシー、バス、徒歩、自転車で巡る。

取材・文／氏家加奈子（一部除く）
撮影／宮平勇希（一部除く）

2023年8月に開業した「BRTひこぼしライン」。
以前は列車が通っていた日田彦山線のうち、
福岡県添田駅～大分県日田駅の40kmの区間を
ピンクやブルーのカラフルなBRTが結んでいます。
沿線には1年を通して見どころが盛りだくさん！
そこで、BRT旅のおすすめコースを6つご紹介します。

※特集内のコースに記載している所要時間は、あくまで時刻表や距離に基づいた目安です。
　混雑・渋滞や諸事情により変動することがありますのでご了承ください。
※本ガイドブックの内容は2026年8月現在のものです。最新情報は各お問い合わせ先にご確認ください。

添田～日田間に36のBRT駅

●：もともと鉄道駅だったところ
（日田・光岡・夜明・添田は現役の駅）

小倉 ― 日田彦山線

添田町
- 添田 ●
- 畑川（医院前）
- 塚原
- 野田
- 歓遊舎ひこさん ●
- 貴船橋
- 豊前桝田 ●
- 柳原
- 下落合
- 屋形原
- 旧英彦中学校前
- 彦山 ●
- 深倉

東峰村
- 筑前岩屋 ●
- 大行司 ●
- 宝珠山 ●

日田市
- 吉竹
- 竹本
- 名本
- 大鶴 ●
- 大明小中学校前
- 方司口
- 伏尾
- 今山 ●
- 釘原
- 小鶴
- 上村
- 祝原
- 夜明 ●（久留米 ― 久大本線）
- 北友田
- 南友田
- 光岡 ●
- 林工西口
- 昭和学園前
- 日田市役所前
- 日田 ●

1 スロープカーで神宮へ。英彦山の魅力を再発見
添田コース①

コース満喫目安時間：4～5時間

福岡県添田町と大分県との県境に連なる、修験道の山として知られる英彦山（ひこさん）の魅力を満喫するコース。路線バスやゆっくりと斜面を上り下りするスロープカーで、歴史ある英彦山神宮や宿坊などを巡ってみよう。途中、石段もあるので歩きやすい服装で。

このコースの注意点

！「添田町バス」は往復5便（土日祝は4便）のみ。12/29・30は運休

！スロープカーは20分間隔で運行

※BRT彦山駅での、添田町バスとの接続に関して、時間帯によっては1時間近く間隔が空いてしまうため、事前確認は必須！

＼START／

BRT時刻表

BRT 添田駅

↓ BRTで16分

BRT彦山駅

添田バス時刻表

↓ 添田町バス「ひこさんコース」20分　「別所駐車場」バス停より徒歩1分

❶HIKONIWA

↓ 徒歩15分

❷英彦山スロープカー（花駅）

↓ スロープカー7分の「神駅」より徒歩1分

❸英彦山神宮

↓ 「神駅」よりスロープカー7分

英彦山スロープカー「花駅」

↓ 徒歩6分

❹財蔵坊

↓ 徒歩2分

❺銅鳥居

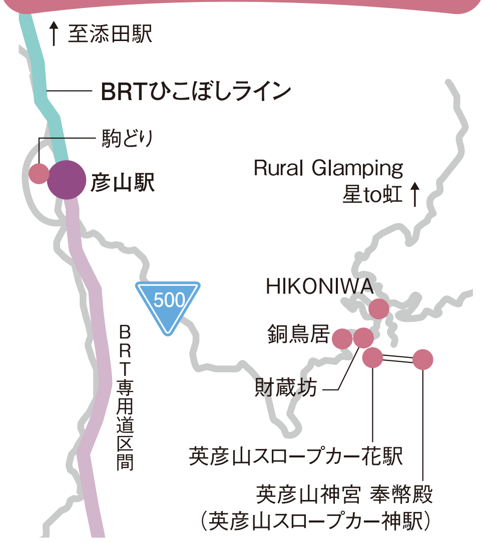
↓ 「銅の鳥居バス停」添田町バス「ひこさんコース」12分

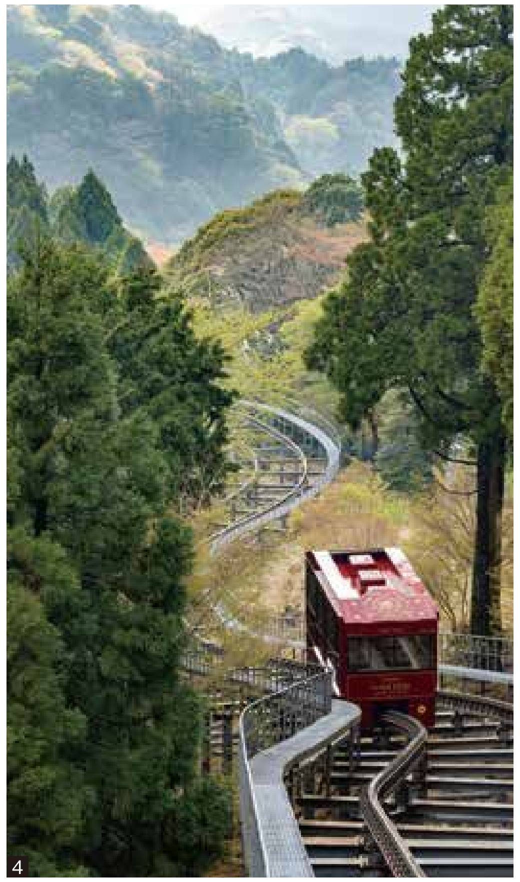
BRT彦山駅

↓ BRTで23分（一部の便は19～20分）

BRT 添田駅

エリアマップ





4

BRT彦山駅から英彦山方面への
お出かけにはこちら！

添田町バス

運行車両の目印は、「添田町バス」の文字と添田町のマスコットキャラクター「ひこちゃん・ゆずちゃん」のイラストです。運行情報はこちらから→

1

英彦山の恵みをスイーツに込めて。

❶HIKONIWA（ヒコニワ）

英彦山の中腹に立つ絶景カフェは、もともと観光案内所だった山小屋風の建物を再利用。居心地良い空間ではお土産品も販売している。英彦山の水を使った自社製造の豆乳から豆乳ケーキを手作りしていて、上品な見た目どおりの繊細な味わいが人気だ。

☎0947-85-0645　所添田町英彦山724-1
営11:00～15:30
休月・火曜（祝日の場合は営業）

MAP

2

3

1 椎茸の加工品や彦山ようかんなど地元のお土産も販売。
2 豆乳チーズケーキ（400円）、抹茶豆乳生チョコケーキ（500円）、豆乳生チョコケーキ（400円）。他にも豆乳を使ったスイーツやドリンク、季節のカレーセットなど。メニューは今後も追加予定。
3 ドリップコーヒー（600円）は1杯ずつ丁寧に淹れてくれる。

徒歩15分

5

6

4 江戸時代の駕籠（かご）をモチーフにした新しい英彦山スロープカー。土日など乗客が多い日は2両編成で運行。5 車内から絶景を眺められる。6 花駅内の売店が、添田町の自慢の一品を販売する「添田英彦商店」としてリニューアルオープン。

花や紅葉、雪景色…車窓からは四季の絶景。

❷英彦山スロープカー

MAP

駐車場のある「花駅」と、英彦山神宮奉幣殿の最寄駅の「神駅」間を7分で結び、20分間隔で運行。2023年3月に車両が新しくなったと同時にリニューアルした花駅内のお土産売り場「添田英彦商店」には、添田ならではの選りすぐりの産品も並ぶ。また花駅2階には入場無料の山伏文化財室も。

☎0947-85-0375
所添田町大字英彦山1487
営上り8：40～16：40、
下り8：50～17：10
※天候等により変更あり
休なし　¥片道 350円、4歳～小学生250円

スロープカーで7分+徒歩1分

国指定重要文化財の英彦山神宮奉幣殿。

北岳・中岳・南岳の3つの山頂を持つ標高1199.5mの英彦山。日本三大修験山として栄え、山中には多くの神社や史跡が点在している。3つの山頂は登山道で結ばれ、いずれも半日程度で登ることが可能。中岳山頂には英彦山神宮の上宮（写真）があり、奉幣殿から上宮までは徒歩約1時間30分。

1000年超にわたる祈りの歴史を感じる。

❸英彦山神宮

古くから信仰が根付いていた霊山で、日本三大修験道のひとつである。山頂の上宮と奉幣殿との間に、中津宮、下津宮も存在する。現在の奉幣殿は小倉藩主細川忠興によって1616年に再建されたもので、1907年に国の重要文化財に指定された。

☎0947-85-0001
所添田町大字英彦山1
営9：00～17：00
休なし

MAP

神駅よりスロープカーで7分+花駅より徒歩6分

参道沿いに残る宿坊をのぞいてみよう。

❹財蔵坊（ざいぞうぼう）

英彦山で唯一完全な形で残っている宿坊で、現役の囲炉裏や茅葺き屋根が特徴的。現在は添田町歴史民俗資料館として活用されている。「英彦山がらがら」絵付け体験は3月〜11月の第4日曜11時〜14時のみ行っており、1人500円、15分程度で完成。

1 山伏の宿坊として使われていた「財蔵坊」。2 坊内には、修験者の日常調度品が展示されている。3 振るとカラカラと涼やかな音色を奏でる英彦山がらがら。赤は太陽を青は水を表し、玄関や軒先に吊るして魔除けとして使われる。財蔵坊では月に1度英彦山がらがらの絵付け体験ができる。

☎0947-82-1236（添田町商工観光振興課）※絵付け体験070-4126-8733（添田町観光ガイドの会）　所 添田町大字英彦山1249
営 3月第3土曜〜12月第1日曜の期間の土・日曜・祝日10：00〜15：00
休 月曜〜金曜、冬季　¥ 入館無料

MAP

徒歩2分

佐賀藩主が寄進した
青銅製の由緒ある鳥居。

❺銅鳥居（かねのとりい）

石段の参道口にある、高さ7mの鳥居。1637年、英彦山を深く崇敬していた佐賀藩主の鍋島勝茂が寄進した。100年後の1734年に京都から運ばれて架けられた『英彦山』の特徴的な扁額も必見。さらに石段を下り国道へ2分ほど歩くとバス停がある。

MAP

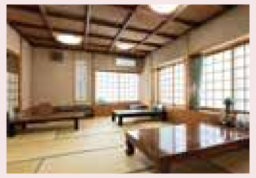
石畳の参道が始まる「銅鳥居」。11月にはそばの大イチョウが色づく。

＼こちらもおすすめ／

4 ヤマメ塩焼き、ヤマメ刺身、鯉こくなどが付いた「松定食」2,500円。5 仕入れたヤマメは、いけすで1日泳がせておなかの中身を出しきって調理する。座敷席の他にテーブル席も5卓ある。

ふっくら厚みのあるヤマメを丸かじり。

食堂 駒（こま）どり

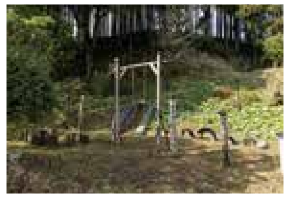


BRT彦山駅の目の前にある1950年創業の老舗。新鮮なヤマメと鯉の料理が名物で、注文ごとにいけすから水揚げして調理。味もボリュームも満足度が高い。ヤマメ刺身は自家製柚子ごしょうとの相性抜群。

☎0947-85-0745　所 添田町落合804　営 11:00〜19:00
休 水曜（祝日の場合は営業）　交 BRT彦山駅から徒歩約1分

MAP

★泊まるなら、こちら…★



Rural Glamping 星to虹

るーらるぐらんぴんぐ ほしとにじ

英彦山の麓にあたる津野地区に、2021年7月にオープン。広々としたテントと充実した施設に1泊2食付きで泊まれる。しいたけ狩り、さつまいも掘りなど、季節に応じた農家体験も好評。

MAP

☎070-8525-7218　所 添田町津野1297　休 なし
¥ 1泊2食1名19,000円（税・サービス料込）※小学生以下半額、食事・寝具不要の未就学児は無料（要連絡）　交 JR添田駅から車で約15分（事前予約で送迎有）
チェックイン16:00〜、チェックアウト〜10:00

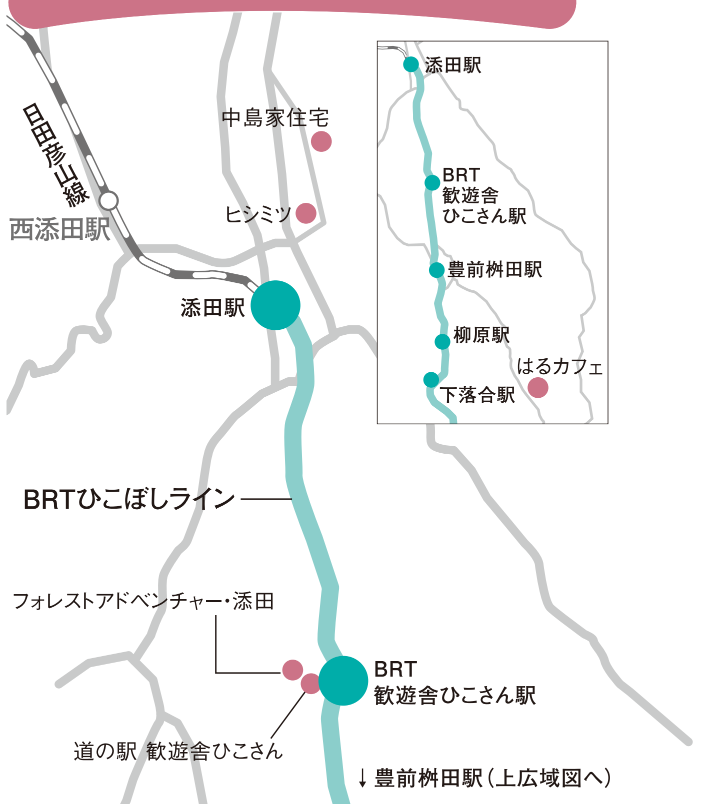
買って遊んで見て食べる！添田駅周辺の人気スポット。

2 添田コース②

コース満喫目安時間：5〜6 時間

添田駅と南へ2kmほど行った歓遊舎ひこさん駅の周辺を満喫する1日コース。木々に囲まれてアドベンチャーを楽しみ、道の駅で買い物をして、古い商家で歴史を学んだ後は、人気店のグルメでおなかを満たす…。家族連れでも友人同士でも大満足間違いなし。

エリアマップ



BRT 時刻表

＼START／

BRT 添田駅

BRTで6分 ↓

❶道の駅歓遊舎ひこさん

徒歩1分 ↓

❷フォレストアドベンチャー・添田

「歓遊舎ひこさん駅」よりBRTで 9分〜13分（便により異なる）↓

BRT 添田駅

徒歩15分 ↓

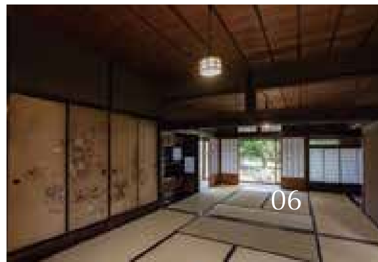
❸中島家住宅

徒歩6分 ↓

❹ヒシミツ

徒歩10分 ↓

BRT 添田駅



1

2

3

4

旬の野菜や
名物グルメが
広い店内にずらり。

❶道の駅 歓遊舎ひこさん

英彦山へ向かう観光客はもちろん、地元の方や飲食店を営む方も、添田の肥沃な大地で育った新鮮野菜を目当てに訪れる人気の道の駅。物産館では、惣菜や地酒、工芸品なども売られている。また屋外には、遊具が充実した「こどもわくわくパーク」も。地域おこし協力隊を中心に営業する観光案内所兼カフェでは、添田英彦山ブレンド珈琲や季節限定メニューを味わうことができる。

☎0947-47-7039
所添田町野田1113-1　営9：00～18：00
休12/31～1/3、2月の第1木・金曜

MAP

1 地元素材を使った加工品や調味料、新鮮野菜がずらりと並ぶ店内。2「道の駅歓遊舎ひこさん」で売られている、手間ひまをかけて作られた添田町産の一味唐辛子と粉末ゆずごしょう。3 右からご当地サイダー「英彦山サイダー」、添田町の米を使った新商品の「米サイダー」と「添田ライスラガー」。4 令和7年11月にオープンした、カフェ併設の観光案内所。土・日曜・祝日に営業を行っている。

徒歩1分

BRT添田駅

BRTで9～13分

徒歩15分

徒歩6分

5

6

5 子どもにも大人にも人気のジップスライド。6 フォレストアドベンチャー受付横に残る、駅名標。7 背の高いスギを使ったスリル満点のアクティビティを順番にクリアして楽しむフォレストアドベンチャー。付き添いの人も一緒に森に入って見守ることができる。8 アドベンチャーコースの所要時間は平均1時間半～2時間。9 キャノピーコースはキッズやシニアも楽しめるコース。

7

スリルも楽しい!
杉林を利用した
自然遊びのレジャー施設。

❷フォレスト アドベンチャー・添田

大人向けのアドベンチャーコースと、難易度を下げたキャノピーコースの2種類があり、ハーネスや事前講習もあるので安心。またハーネスなしで楽しめる簡易アスレチック「リトルクエスト」や牧場、トランポリンなど小さな子ども向け付帯施設も充実しているので家族で楽しめる。

☎080-3975-4010　所添田町野田1288-3　営9：00～17：00（受付は15：00まで）、ナイトフォレスト18:00～21:00（※前日までに要予約）
休火・木曜　※長期休業中（夏休み等）は営業を行います。　¥アドベンチャーコース1人4,000円、キャノピーコース1人3,000円、リトルクエスト1,000円

MAP

8

9

10

11

12

10 国指定重要文化財の中島家住宅。瓦屋根や大戸の黒と、真っ白に輝く漆喰壁のコンストラストが目を引く。11 中島という名字は商売が繁盛した1860年代頃から使われ始めた。12 酒蔵の中には、岩石山の伏流水を汲み上げていた井戸が残る。

街道の宿場町に残る
見応えのある大規模商家。

❸中島家住宅

中島家は江戸時代、ハゼの実から作るハゼロウ（和ろうそくや口紅の原料）をはじめ、醤油・酒などの商売で財を成し、名字帯刀を許された旧家。大規模保存修理工事を経て、当初の主屋や蔵の姿がよみがえり、2022年2月から一般公開されている。

☎0947-82-1236
（添田町商工観光振興課）
所添田町添田1860
営水曜～日曜の10:00～16:00
休月・火曜（祝日の場合は開館し水曜休館）、12/25～1/5
¥入館無料

MAP

地元食材を発信する
和風イタリアン。

❹ヒシミツ

家業だった醤油蔵をリノベーションした店内で、ピザをメインに和の要素も取り入れたイタリアンを提供。「添田の食材のおいしさを伝えたい」と旬の野菜をたっぷり取り入れ、子どもからご年配まで笑顔に。ピザはバラエティ豊かで飽きないとリピーターも多い。

☎0947-31-4192
所添田町添田1999
営11:00～16:00
（LO14:30）
休日曜・祝日

MAP

13

14

15

13 大人気のランチコースは前菜プレート、メイン（パスタまたはリゾット）、ピザバイキング、ドリンク付きで2,640円。オーダーバイキングのピザはなんと20種類以上食べ放題! 14 注文に応じてピザ窯で焼きたてを。15 72席が満席になるので平日も予約がベスト。カウンター席で一人利用もいい。

こちらもおすすめ

英彦山の麓、自然あふれるロケーションが魅力。

はるカフェ

地元野菜をふんだんに使った、体に優しいメニューが人気。なかでも一押しは、天然ミネラル豊富な山水で育った自家精米のおむすびに、具だくさんの豚汁がセットになったボリューム満点の「おむすびランチ」。食事のほかにも、こだわりのコーヒーや手作りのケーキ、マフィンなどもおすすめだ。

☎0947-85-0087　所添田町大字桝田638-1
営カフェ10：00～16：00、ランチ12：00～14：00　※数量限定のため予約がおすすめ
休火・水・木・金曜　※臨時休業あり　交JR添田駅から車で約10分

MAP

3 東峰コース①

伝統と個性を兼ね備えた山間の陶郷を訪ねる。

コース満喫目安時間：6～7時間

飛び鉋（かんな）や刷毛目（はけめ）といった伝統的な技と現代的なデザインが融合した小石原焼。黒田藩の御用窯がルーツの髙取焼。ファンも多いこれら2つの焼き物が生み出される小石原エリアは、徒歩や乗合タクシーで窯元巡りを楽しもう。お目当ての器にきっと出合える。

このコースの注意点

- ！東峰村乗合タクシー予約受付は6日前から。12/29～1/3は運休。送迎先での待機ができないので注意が必要
- ！大行司駅前に約100段の階段あり。体力に自信のない方は、宝珠山駅、筑前岩屋駅の利用がおすすめ

BRT時刻表

＼START／

BRT添田駅	BRT日田駅
BRTで38分↓	BRTで47分↓（午後は52分）

BRT大行司駅
↓ 乗合タクシーで17分
①小石原焼伝統産業会館
↓ 徒歩6分
②柳瀬本窯元
↓ 徒歩15分
③道の駅小石原
↓ 徒歩15分
④山乃茶家
↓ 徒歩13分
⑤kutsurogi+
↓ 乗合タクシーで5分
⑥上鶴窯元
↓ 乗合タクシーで9分
BRT大行司駅

BRTで45分↓（一部の便は41分）	BRTで55分↓（一部の便は52分）
BRT添田駅	BRT日田駅

40以上の窯元が点在

小石原焼・髙取焼 窯元分布MAP

小石原焼・髙取焼
公式サイト
「天空の窯郷」
詳しい窯元情報は
こちら

運賃1人300円！
村内の移動はこれが便利

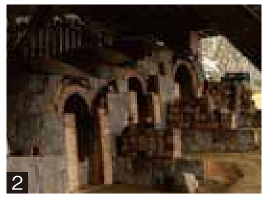
東峰村乗合タクシー（のるーと東峰）

運行時間 8:30～17:00

Google Play で手に入れよう　App Store からダウンロード

↑ 予約はアプリから ↑

朝倉市杷木と東峰村を結ぶ定時路線便もあります。詳しくはこちらから▶



1 小石原焼伝統産業会館には、歴史的な資料のほか、全窯元の代表作と概略の展示室も。2 入り口横にある現役の登り窯。3 有料展示エリアの手前には、小石原焼の販売コーナーも。4 作家の個性が現れる大型作品なども一堂に並べられており、見応えがある。5 館内は回廊のような造り。

小石原の焼き物の歴史を知れば窯元巡りがさらに楽しくなる。

①小石原焼 伝統産業会館

敷地内に登り窯も備えた、小石原焼の歴史を学べるミュージアム。絵付けや飛び鉋など陶芸体験もでき、窯元巡りの拠点にちょうどいい。

☎0946-74-2266
所 東峰村大字小石原730-9
営 9:30～17:00
休 火曜（祝日の場合は翌日）
¥ 入館料300円、高大生250円、小中学生200円
陶芸体験1,070円～3,700円

MAP

徒歩6分

小石原焼発祥の地、「皿山通り」にある窯元へ。

②柳瀬本窯元（やなせほん）

350年の歴史を持つ窯元。皿山地区の石畳通り沿いに店舗と工房があり、今では珍しくなった自家製の陶土を使った作陶も行っている。

☎0946-74-2206　所 東峰村大字小石原790　営 9:00～17:00
休 木曜

MAP

6 民芸調の広々とした展示販売場。7 柳瀬本窯元では現在も、小石原の山の土を砕いて粘土を作っている。

徒歩15分

徒歩15分

8 道の駅小石原の「陶の里館」。最近は、小石原焼を買いに訪れる外国人観光客も多いという。9 こだわり香辛料や調味料など、村の太鼓判付き商品のコーナーも。10 特産物直売所では、新鮮な野菜や東峰村のしいたけが人気。

物産館やレストラン、豊富な品揃えの小石原焼専門店も。

③道の駅小石原

40の窯元の作品が揃う「陶の里館」は、2021年度に改装。商品数も観光案内も充実し、常に買い物客で賑わう。食事処や直売所も隣接。

☎0946-74-2300
所 東峰村大字小石原941-3
営 9:00～17:00（4～10月は～17:30）
休 12/31～1/2
※レストラン「こだち」金曜定休（祝日の場合は営業）

MAP

豪雨被災から６年後に再オープン
地元に愛され続ける食事処。

④山乃茶家（やまのちゃや）

開業は50年前だが2017年の豪雨で休業。地元からの要望を受け、孫である現店長が祖母の思いを受け継いで2023年に復活させた。食感が独特の田舎そばや行者餅が名物。

☎090-6376-1055
所 東峰村大字小石原1111-1
営 10:00〜14:30　土・日曜・祝日10:00〜16:30　※材料がなくなり次第閉店する場合あり　休 木曜

MAP

1

2

3

1 国道211号沿いにあり、ゆったりくつろげるお店。2 栄養満点の自家製ダレが相性抜群のジンギスカン（1人前1,800円）。3 そばもうどんも麺は手打ち。鴨の出汁が効いた鴨南そば（1,100円）も人気メニューの一つ。器はもちろん小石原焼。

徒歩13分

4

8

ときを忘れてくつろげる空間。

⑤kutsurogi+

地元・小石原や朝倉産の新鮮野菜を使い、注文が入ってから薪窯で焼き上げるピッツァが大人気。オリジナルの小石原焼のカップで提供されるオーガニックコーヒーや、オーナーが無農薬で育てた小豆のぜんざいをはじめとするスイーツも魅力的。木目調の温かで開放的な空間で時を忘れてくつろげる。

☎090-3146-9262
所 東峰村大字小石原931-1
営 11:00 〜 20:00（LO19:00）
休 水・木曜

MAP

5

6

7

4 薪窯で焼くピザやパスタ、カレーなどが楽しめるカフェ&レストラン。5 6 7 スイーツメニューも豊富。8 2023年4月28日にオープン。

乗合タクシーで5分

今どきの食生活やインテリアにも馴染む器。

⑥上鶴窯元（かみづる）

昭和期に創業した窯元。飛び鉋といった伝統的な技法に、ドットや星柄を組み合わせた優しい色合いの食器類が、どんな料理にも合うと人気。

☎0946-74-2097
所 東峰村大字小石原鼓2514-1
営 9:00〜17:00
休 不定休

MAP

9

10

11

9 伝統とモダンが融合したポップな食器が並ぶ、上鶴窯元のおしゃれな雰囲気の店内。10 工房と店舗は鼓地区の国道沿いにある。和田さん自身で店舗の改装も手がけた。11 上鶴窯元の2代目、和田祐一郎さん。

1泊2日で楽しむ棚田の里。

東峰村公認キャラクター
とほっぴ

4 東峰コース②

コース満喫目安時間：１泊２日

日田彦山線のうち東峰村を縦断する区間は、以前の鉄道路がそのままBRT専用道になっている。列車が走っていた時と変わらぬ車窓の風景や、村内から見上げるアーチ橋の眺め、棚田の絶景を楽しみつつ静かな山里で過ごす1泊2日。心身共にリフレッシュしよう。

このコースの注意点&注目ポイント

- ！岩屋神社散策は足元が悪いので、歩きやすい服装で
- ！めがね橋の上をBRTが走行する風景をぜひ写真に。通過時刻はBRTひこぼしラインの時刻表をチェック

※食事処の利用や宿泊を考えられる方は、予約が必要な場合もあるので、空き状況を確認。

BRT時刻表

＼START／

BRT添田駅　BRTで30分↓
BRT日田駅　BRTで55分↓（午後は60分）

BRT筑前岩屋駅
徒歩20分↓

①里山カフェ棚田屋
徒歩13分↓

②岩屋神社・岩屋公園
乗合タクシーで2分〜5分↓

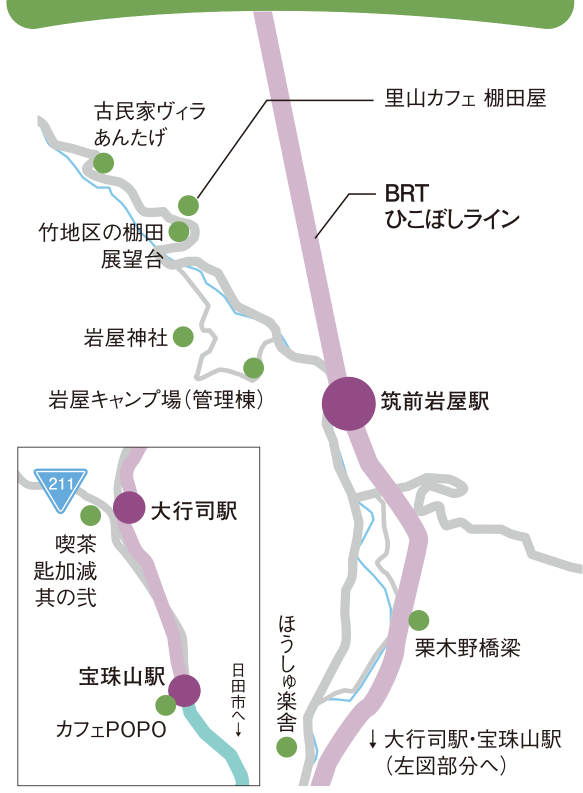
宿泊
乗合タクシーで5分〜10分↓

③めがね橋巡り（栗木野橋梁ほか）
第二大行司橋梁（松尾橋）より徒歩15分↓　栗木野橋梁より乗合タクシーで6分↓

④喫茶 匙加減其の弐
徒歩5分↓

BRT大行司駅
BRTで45分（一部の便は41分）↓　**BRT添田駅**
BRTで55分（一部の便は52分）↓　**BRT日田駅**

エリアマップ



1

2

3

棚田の中の絶景カフェで炊きたてご飯を。

❶里山カフェ 棚田屋

日本棚田百選に選ばれた「竹地区の棚田」の真ん中に立つカフェでは、野菜中心の手作り料理が味わえる。地元の農家から仕入れる旬の野菜を中心にした、ヘルシーかつ満腹になれる定食が人気だ。もちろん主役は、小石原焼の土鍋で1人分ずつ炊き上げる棚田米のほっかほかご飯。

☎0946-23-8400 所東峰村大字宝珠山5171-1
営金・土・日曜と祝日の11:00〜14:30
休月曜〜木曜、年末年始

MAP

1 特製土鍋の炊きたて棚田米が付いた棚田米土鍋膳2,200円（コーヒー、デザート付き）。2 旬の食材を棚田米のおにぎりと共に。3 自家製デザートや東峰村の自然の味、野草茶と一緒にどうぞ。

徒歩13分

4

5

4 境内にあるご神木の大イチョウ。樹齢は600〜700年だとか。5 まさに巨岩と社が一体化したような岩屋神社の本殿。空から降ってきたと伝えられる「宝珠石（ほうしゅせき）」をご神体とする。

紅葉の季節も美しい
歴史が息づく岩山の神社。

❷岩屋神社・岩屋公園

岩屋神社の創建は西暦532年。1698年に建てられた本殿は国の重要文化財に指定されている。神社周辺が公園で、天然記念物の奇岩群や大イチョウなどが目を楽しませる。

MAP

☎0946-72-2312
（東峰村ふるさと推進課）
所東峰村大字宝珠山4150-2

乗合タクシーで5分

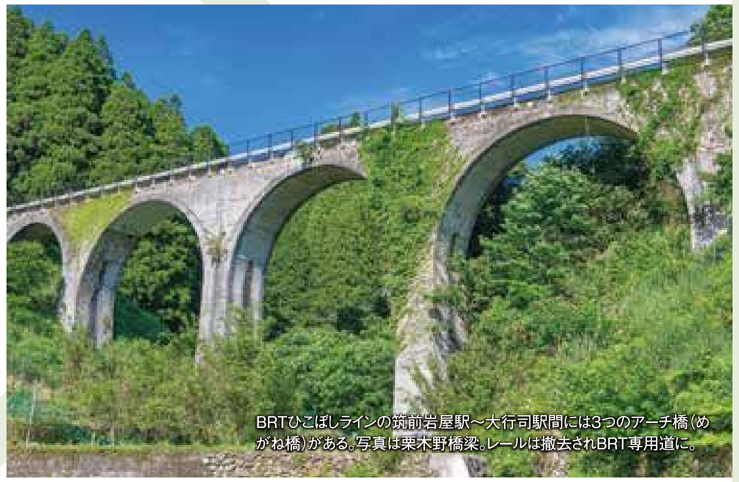
近代土木遺産にも選定
1938年完成の多連アーチ橋。

❸栗木野橋梁

日田彦山線のアーチ橋、通称「めがね橋」は筑前岩屋駅〜大行司駅間に3つ存在する。そのうち最も美しいといわれるのが栗木野橋梁で、約1km南側にある宝珠山橋梁と共に近代土木遺産に登録。冬季のライトアップも幻想的。

MAP

☎0946-72-2312
（東峰村ふるさと推進課）
所東峰村大字宝珠山地内



BRTひこぼしラインの筑前岩屋駅〜大行司駅間には3つのアーチ橋（めがね橋）がある。写真は栗木野橋梁。レールは撤去されBRT専用道に。

乗合タクシーで6分

6

7

8

小石原焼でのんびりカフェタイム。

❹喫茶 匙加減（さじかげん） 其の弐

MAP

店主がセレクトした小石原焼の器で手作りスイーツを。地元食材を中心にした素材で作る、内容お任せのよしこ飯（900円、要予約）も人気。納屋を改装した店内の壁の一部には、国道の石垣をそのまま使っていて面白い。穴蔵感があり、ついつい長居してしまいそう。

☎090-8419-6115
所朝倉郡東峰村大字宝珠山6406
営10:00〜16:00　休不定休

6 熊本産の和紅茶350円、日替わりおやつ。取材日はゆずチョコ味の蒸しパン150円。「近隣の食材で安く提供したくて」とこのお値段！ 7 店主お気に入りの窯元の器や地域の産品を販売する。
8 アンティークな家具や小物が似合う店内。

こちらもおすすめ

名水で淹れるコーヒー、
カレーやスイーツも。

カフェPOPO

令和7年12月にBRT宝珠山駅内にオープンしたカフェ。「ななつ星in九州」を手掛けた水戸岡鋭治氏がデザイン監修。平成の名水百選に選定された「岩屋湧水」にあわせてRECOFFEEが開発したオリジナルブレンドコーヒーほか、高取焼のカレー専用皿で供されるカレーライスも人気。

☎0946-72-2810
所東峰村福井 BRT宝珠山駅内
営月・水・土・日曜・祝日
11：00 〜 15：00
休不定休　※営業日はインスタグラムでご確認ください。

MAP

泊まるなら、こちら…

竹棚田を見下ろす
築130年超の一軒家。

古民家ヴィラ あんたけ

棚田に立つ築132年の古民家をリノベーションした宿泊施設。1日1組（定員8人）限定。厨房付きで自炊もできるが、予約すれば里山会席や棚田米ごはんを味わえる。棚田と一体化したような庭には月見台も。

☎0946-23-8423
（岩屋キャンプ場、12:00〜17:00）
所東峰村大字宝珠山5430
休年末年始
¥1泊1棟33,000円＋
1人5,500円（小学生2,750円）
交BRT筑前岩屋駅から乗合タクシーで約5分

MAP

テントサイトやコテージで
手ぶらキャンプも楽しめる。

岩屋キャンプ場

耶馬日田英彦山国定公園内にある人気のキャンプ場。高台の開けた場所がテントサイトになっている。キャンプ場を拠点に、棚田や岩屋神社へお散歩するのもおすすめ。

☎0946-23-8423（12:00〜17:00）
所東峰村大字宝珠山4171
休年始、不定休　¥フリーサイト1人550円＋1張1,500円（電源付3,000円）、コテージ1泊16,500円〜　交BRT筑前岩屋駅から管理棟まで徒歩約15分

MAP

※料理は一例です

料理も器も地元のもの。
家庭的なもてなしも魅力。

ほうしゅ楽舎（がくしゃ）

平成29年7月九州北部豪雨災害によって被害を受けた宿泊施設「ほうしゅ楽舎」が地域の方々の協力のもと、令和5年9月4日に営業を再開！

☎0946-72-2255
所東峰村大字宝珠山3066-1
休火曜、12/29〜1/3
¥1泊2食1人11,550円（ツイン1名利用不可、和室2〜4名利用）
交BRT筑前岩屋駅から徒歩約20分

MAP

5 日田コース①

日田産"美味"の宝庫！
里山ほろ酔いコース。

コース満喫目安時間：5時間

日田市北部の大肥川周辺エリアでは、江戸時代から続く蔵が今も地元の水で酒造りを続けている。そんな美酒を堪能できるほろ酔い旅コースをご紹介。地域で採れる農産物や加工品など、ご当地ならではの味も楽しみながら巡りたい。

このコースの注意点

！「しゃも屋凛」の17:00以降利用や「清渓文庫」、「ももは工房」の手作り体験は要予約！

※その他、当日の品揃えなどは事前に各店に問合せを。

BRT時刻表

＼START／

BRT日田駅

↓ BRTで41分（午後は46分）

BRT竹本駅

↓ 徒歩2分

①しゃも屋 凛

↓ 徒歩7分

②やさい工房 沙羅

↓ 徒歩1分

BRT名本駅

↓ BRTで4分

BRT方司口駅（ほうしぐち）

↓ 徒歩2分

③井上酒造・清渓文庫

↓ 徒歩15分

④老松酒造

↓ 徒歩15分

⑤ももは工房

↓ 徒歩8分

BRT釘原駅

↓ BRTで8分 → **BRT夜明駅**

↓ BRTで36分（一部の便は33分） → **BRT日田駅**

エリアマップ

大分県のブランド鶏を
炭火焼きや刺身で味わう。

①しゃも屋 凛（りん）

豊かな自然が育んだ高品質地鶏「豊のしゃも」専門店。炭火焼で味わえば、一般的な地鶏よりもやわらかな程よい歯ごたえと肉の旨みを堪能できる。希少部位も人気。

☎090-9723-3315
所 日田市大字大肥町685-3
営 11:00〜15:00（LO14:00）、17：00〜（要予約）　休 木曜

MAP

1 鶏の中でも最もおいしいといわれるシャモと交配して生まれた地鶏は、脂肪が少なく旨みが濃い。（単2,200円〜）2 おまかせ刺身盛（2200円）では、当日の仕入れ状況に応じて希少部位が味わえることも。3 豊のしゃもの炭火焼が味わえる他、手作り豆腐なども付いた3700円〜のコースもおすすめ。

徒歩7分

朝採れの新鮮野菜が並ぶ
名本駅そばの直売所。

②やさい工房 沙羅

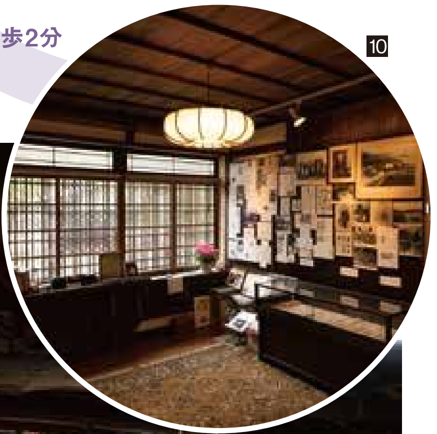
地元農産物の直売所として2008年に誕生。豪雨災害では浸水被害を受けたが、地元の方々を中心に多くの支援で復活。味が良いと評判の棚田米は、わざわざ県外から買いに来る方もいるほど。

MAP

☎0973-28-2738
所 日田市大肥本町1212
営 7:00〜17:00
休 1/1〜1/3

4 やさい工房 沙羅に農産物を納入する契約農家は80軒ほど。5 日田のおいしい水で育てたお米も並ぶ。6 家庭向けの洗剤や調味料なども置く、地域のよろず屋さん。

徒歩1分＋ BRT4分＋ 徒歩2分



由緒ある建物や品々も見応えあり。
伝統の技にこだわる清酒蔵。

③井上酒造・清渓（せいけい）文庫

創業以来の清酒「角の井」や新商品「百合仕込み」の他、特産の果物を使ったリキュールも好評。敷地内にある国の登録有形文化財「清渓文庫」は、日銀総裁や蔵相を務めた井上準之助の生家。

MAP

☎0973-28-2211
所 日田市大鶴町2220-1
営 8:00〜17:00　清渓文庫は10:00〜
休 土・日・祝日　清渓文庫は要予約
¥ 清渓文庫入館料1,000円

7 地元の米だけでつくる「百合仕込み」。8 店舗兼住居としても現役の「清渓文庫」。9 井上酒造の木造蔵。1937年、地元大工と近所の方々が協力して築き、豪雨災害でもびくともしなかった。10 井上準之助の遺品や資料を展示。

徒歩15分

地元産の果実酒や焼酎のファンも多い酒蔵。

❹老松（おいまつ）酒造

松の老い木があった老松神社の泉から湧き出る水を使って1789年に酒づくりを始めた老舗酒蔵。清酒と共に、こだわりの詰まった焼酎「閻魔」も人気で、毎年のように数々の賞を受賞している。

☎0973-28-2116　所日田市大鶴町2912
営8:00〜17:00　休土・日・祝日

MAP

1 老松酒造の入り口の壁で見ることができる、鏝絵師の後藤五郎（仁五）さんによる鏝絵（こてえ）。2 紅葉も美しい老松神社。3 地元・大肥で育った大麦も酒の材料に。4「TWSC2023」で銀賞を受賞したリキュール「夜明メープル樽貯蔵」と、麦焼酎「極上閻魔（えんま）」。

徒歩15分

無添加味噌を手作りする小さな工房。

❺ももは工房

大肥地区の肥沃な農地で育った米、麦、大豆を使った無添加味噌を、女性5人で手作り。直売もしていて、塩麹、あられなども好評。味噌2kgを持ち帰れる手作り体験（2,400円、要予約）も面白い。

☎0973-27-7211　所日田市夜明上町693-1
営9:00〜17:00　休火・日曜・祝日（手作り体験は対応可）

MAP

5 ももは工房では「大肥の庄みそ」を中心に、野菜あられや田楽みそなども作って販売している。

こちらもおすすめ

川沿いのテラス席が心地いい
憩いのカフェで一息。

Cafe（カフェ） AURORA（アウローラ）

夜明ダム（筑後川）のほとりにある人気のカフェ。日田のおやつ「へこ焼き」をはじめ、タイカレーなど週替わりのおまかせランチや、季節のフルーツ（梨など）を使ったおまかせパフェが好評。

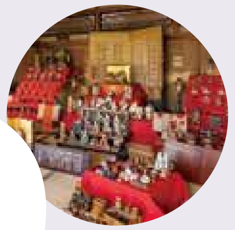
☎090-3798-8761
所日田市夜明中町2297-3
営11:30〜17:00　休月・火曜
交JR夜明駅から徒歩約20分

MAP

6 日田で昔から食べられているローカルおやつ「へこ焼き」とドリンクのセット1,600円。本来は小麦粉の生地を焼いた素朴なものだが、カフェ仕様でおしゃれなスイーツに。7 筑後川河畔のテラス席が心地いい。競技ボートの選手たちが練習する姿を見ることも多い。8 国道沿いに佇む店舗。ペットの同伴も可能（要予約）。

歴史の残り香とグルメを
歩いて楽しむ豆田町。

6 日田コース ②



日田市観光協会
マスコットキャラクター
たんそうさん

コース満喫目安時間：5時間

国内外から観光客が多く訪れる豆田町は、白壁の商家や土蔵など、江戸時代からの風情ある町並みが残るエリア。そんな豆田町の散策は、BRTの出発地でもある日田駅周辺の楽しみ方として欠かせない。人気の日田グルメを味わえる店もあわせてご紹介。

このコースの注意点

! BRT「日田市役所前」駅は、午後の上り（日田駅発）便と、午前7時台の下り便のみが停車し、それ以外は止まらないので注意

※「昭和学園前」駅、「林工西口」駅も同様

BRT
時刻表

＼START／

BRT日田市役所前駅

徒歩15分 ↓

❶廣瀬資料館

徒歩2分 ↓

❷いた屋本家

徒歩4分 ↓

❸日田醤油（ひな人形ミュージアム）

徒歩3分 ↓

❹日本丸館

徒歩15分 ↓

❺カフェビヨリ

徒歩8分 ↓

BRT日田駅

エリアマップ

日田市内
レンタサイクル＆
シェアサイクル
情報は P22

JR 日田駅から市内中心部への
お出かけにはこちら！

市内循環バスひたはしり号

市内中心部を運行する、乗り降りしやすい低床の小型バス。交通系ICカードも使えます。ぜひ、ご利用ください。
運行経路と時刻表は、こちらから→

江戸後期の商家の生活も知れる国指定史跡。

❶廣瀬資料館

儒学者・廣瀬淡窓の生家を活用した資料館が、2023年に4年半の修復工事を終え公開範囲を広げて開館。江戸末期に金融業で栄えた廣瀬家の史料や、淡窓の貴重な遺品を展示。

☎0973-22-6171
所日田市豆田町9-7
営9:00～17:00　休月曜（祝日の場合は翌日）、12/30～1/3 ※2・3月と10・11月は休みなし
入館料450円（高校生350円、中学生以下は無料）

1 廣瀬資料館の主屋にある帳場。当時の両替の様子を再現。2 正面が1853年築の「新座敷」。こちらの内部も展示室に大改装。廣瀬家の概要を説明した動画も公開。

徒歩2分

代々受け継ぐ秘伝たれで焼く絶品うなぎを味わおう。

❷いた屋本家

170年もの間人々に愛されてきたうなぎのせいろ蒸しは、脂ののった鹿児島産うなぎを使い、香ばしくふっくら。5月末～9月末は天然の鮎料理も。

☎0973-22-1182
所日田市港町3-29
営11:00～14:30
休火曜

3 天領うなぎのせいろ蒸し・上（吸物付き）3,800円。職人の焼き技が光る。4 いた屋本家の日田産鮎の塩焼き850円。5 店舗の入り口横では、うなぎの蒲焼を贅沢に混ぜ込んだ焼おにぎりも販売している。1個350円。

徒歩4分

醤油や味噌の買い物ついでに迫力あるお雛様の展示も必見。

❸日田醤油（ひな人形ミュージアム）

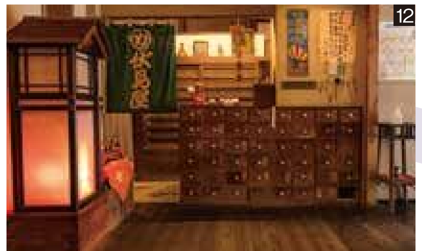
江戸期から続く味噌・醤油の老舗。店舗奥がミュージアムとなっており、3代目当主が収集した4,000体もの雛人形を一年を通して見ることができる。

☎080-4275-0898
所日田市豆田町13-6
営9:30～16:30
休元日　¥入館料300円

店舗ではしょうゆソフトクリーム500円も人気。

6 ひな人形ミュージアムの目玉、常設として日本最大級の10段飾りのお雛様。7 新商品をはじめ、全商品、試食可能。8 日田醤油本店から徒歩1分。

徒歩3分



3階の展望楼から豆田を一望。江戸時代から続く老舗薬屋。

❹日本丸館（にほんがんかん）

薬を売り始めた江戸時代から昭和まで増改築を重ねた迷宮のような日本家屋。薬局ならではの珍しい展示物の数々は必見。

☎0973-23-6101
所日田市豆田町4-15
営10:00～16:00　休不定休
¥入館料400円（小中高生200円）

9 日田の町並みを一望でき「豆田の天守閣」と称された3階の展望楼。10 生活感を残した展示が興味深い。11 日本丸館に展示された古い薬箱。12 江戸時代は「伏見屋岩尾古雲堂」と称していた。

徒歩15分

13 マンゴーパフェ1,200円は夏の定番。マンゴージェラートが美味。14 チョコ好きには見逃せない、ブラウニーチョコパフェ1,380円。

季節が変わるごとに訪れたい種類豊富な絶品パフェの店。

❺カフェビヨリ

パフェは常時40種～! ソースやトッピングを選べるカスタマイズパフェもあり、何にしようか心躍る。季節限定パフェの果物は「なるべく新鮮なものを」と近隣農家から当日入荷。夏季は日田産シャインマスカットや桃をお楽しみに。

☎0973-28-6570
所日田市三本松1-1-27
営月～木・日曜11:00～20:00（LO19:30）、金・土曜・祝日の前日11:00～20:30（LO20:00）
休不定休

おすすめグルメ

日田やきそば900円。鉄板で焦がし付けた生麺ともやし、ねぎ、豚肉をお店特製の和風ソースで。

豆田町で日田やきそばを食べるなら…

宝華（ほうか）

日田のご当地グルメの元祖といえば日田やきそば。店によって特色があるが、コチラのソースは創業以来変わらぬサッパリ和風味が、国内外の観光客にも支持される。香ばしい麺とシャキシャキのもやしが食欲をそそり、いくらでも食べられそう。

☎0973-22-4026
所日田市豆田町2-7
営11:00～15:00、17:00～20:00
休水曜
交JR日田駅から徒歩約15分

三隈川で採れた鮎を香ばしく焼き上げた鮎の塩焼き（時価）。

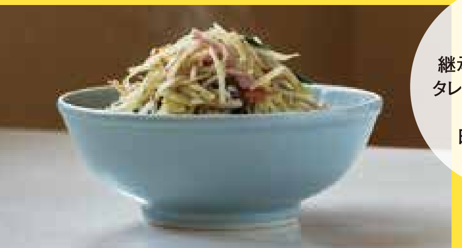
日田の恵みいっぱい「きこりめし」（1,350円、要2日前予約）

日田駅前で名物を食べるなら…

寶屋（たからや）

1930年の創業以来、地元の人たちの「あれが食べたい」に応えてきた寶屋のメニューはなんと100種以上! 近隣の食材を大事にしており、三隈川の鮎も1年を通して楽しめる。その他、日田チャンポンやとり天も観光客に人気。

☎0973-24-4366
所日田市元町13-1
営11:00～15:00（LO14:30）、17:00～21:00（LO20:30）
休水曜（祝日の場合翌日）
交JR日田駅から徒歩約1分



創業当時から継承してきた秘伝のタレで、あっさりなのに濃厚な旨み。日田チャンポン960円。

沿線トピックス

福岡県 添田町

eスポーツイベント「SOEDA-LAN」

11月14日(土)～15日(日)

最新のTVゲームやVR体験、懐かしのレトロゲーム、昔ながらの麻雀やボードゲームなどが大集合。「学校跡地を丸ごとゲームセンター」にして開催されるイベントは、大人も子どもも一緒に楽しめる。入場無料。

所旧添田小学校
問添田町役場まちづくり課☎0947-82-5965
交JR添田駅から徒歩約5分

英彦山の紅葉

例年の見頃：10月下旬～11月中旬

山頂付近からモミジやカエデなどが色づき始め、英彦山神宮の参道や英彦山大権現などが鮮やかに染まる。英彦山が一望できる花見ヶ岩からの眺めは格別。

所英彦山周辺
問添田町商工観光振興課☎0947-82-1236
交BRT彦山駅から添田町バスで各所へ

英彦山参道マルシェ

11月14日(土)～15日(日) ※予定

古くから英彦山の中心地として栄えた英彦山神宮の表参道を舞台に開催。参道沿いの紅葉を楽しみながら、英彦山の味覚やお買い物が楽しめる。

所英彦山表参道
問英彦山門前町同好会：松養坊
☎0947-31-4000　交BRT彦山駅から添田町バスで約15分、「銅の鳥居」下車

ふる里まつり

11月28日(土)～29日(日)

添田町の秋の味覚が楽しめる一大イベント。添田町のほか、姉妹町である北海道美深町の特産品も販売。ステージイベントも行われる。

所オークホール駐車場
問添田町商工観光振興課
☎0947-82-1236
交JR西添田駅から徒歩約3分

福岡県 東峰村

秋の民陶むら祭

10月10日(土)～12日(月・祝)

小石原焼と高取焼の大陶器市として、春と秋の年2回開催。期間中は通常価格の2割引程度で購入できるため、多くの焼きものファンでにぎわう。40を超える窯元をめぐりながら、お気に入りの一品を見つけよう。

所小石原地区・小石原鼓地区
問民陶むら祭運営委員会☎0946-74-2121
交BRT大行司駅からタクシーで各所へ

竹棚田のライトアップ

10月24日(土)～11月3日(火・祝) ※予定

400年近い歴史を持ち、農林水産省の日本棚田百選に選ばれる竹地区の棚田。石積みの棚田約400枚が幻想的にライトアップされる。棚田でのキャンプ体験や初日に開催のステージイベントもおすすめ。

所竹地区　問岩屋キャンプ場☎0946-23-8423
（※棚田キャンプは要予約）
交BRT筑前岩屋駅から徒歩約17分

東峰村秋まつり

11月1日(日)

秋の実りに感謝して行われる収穫祭。東峰村でとれた農産物や上質な黒毛和牛、特産物などを販売。太鼓や舞踊などが披露されるステージイベントも開催される。

所東峰村宝珠山グラウンド
問東峰村秋まつり運営委員会☎0946-72-2313
交BRT宝珠山駅から徒歩約10分

大分県 日田市

高塚愛宕地蔵尊秋の大祭

9月20日(日)

所高塚愛宕地蔵尊　問高塚愛宕地蔵尊社務所☎0973-57-9200　交JR日田駅からタクシーで約23分

第22回 千年あかり

11月13日(金)～15日(日)

大分三大竹あかりの一つ、秋の夜を美しく彩る

豆田町の人たちを中心に真心を込めて作られた竹灯籠。無数のあかりが、「重要伝統的建造物群保存地区」に指定された豆田町の古い町並みと、「水郷ひた」のシンボルの一つでもある花月川をやさしく照らし、見る人を幽玄の世界へと誘う。

所豆田町周辺（豆田町界隈・花月川河畔）
問日田市観光協会☎0973-22-2036
交JR日田駅から徒歩約20分

第47回日田天領まつり

11月14日(土)～15日(日)

江戸時代、幕府の直轄地「天領」だった日田の栄華を再現する祭り。衣装を着て天領の雰囲気が漂う町を歩く「時代衣装でまち歩き」や、「天領屋台・天領マルシェ」などを開催。

所豆田地区、月隈公園周辺　問日田まつり振興会事務局（日田市観光課内）☎0973-22-8210
交JR日田駅から徒歩約20分

第44回天領日田おひなまつり

2027年2月15日(月)～3月31日(水)

江戸幕府の西国筋郡代の役所が置かれ、繁栄を極めた天領日田。豪商たちが活躍し、町人文化が花開いた日田の旧家に残る、絢爛豪華なひな人形やひな道具の数々を旧家や資料館で展示・公開。

所豆田地区、隈地区ほか
問日田市観光協会☎0973-22-2036
交JR日田駅から徒歩約20分

自転車を使って日田を旅してみませんか?

	レンタサイクル		シェアサイクル
発着場所	日田市観光案内所（JR日田駅横）	あまがせ観光案内所（JR天ヶ瀬駅横）	・日田市観光案内所（JR日田駅横） ・日田温泉街（黎明館） ・豆田上町ポケットパーク ・奥日田観光案内所 ・JR天ヶ瀬駅前 ・夜明駅前
自転車	普通自転車	電動アシスト自転車（スポーツタイプ）	電動アシスト自転車
料　金	1時間300円～	2時間500円～	3時間1,500円～
詳しくはこちら			登録から精算まで「cogicogi」アプリで24時間対応。ダウンロードはこちらから→